

福島新エネ社会構想における再生可能エネルギー由来水素プロジェクト に係る実証候補地点の推薦について

平成 29 年 5 月 10 日
新生ふくしま復興推進本部

1. 概要

- 平成 28 年 9 月に取りまとめられた「福島新エネ社会構想」においては、再生可能エネルギーを用いて大規模に水素製造を行い、更に輸送・貯蔵技術と組み合わせ、水素を有効活用するためのシステムの構築について、福島県内において実証を行い、2020 年までに運転を開始することとされている。
- 同実証については、現在、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託を受け、事業者により、事業可能性調査が行われているところであるが、今般、資源エネルギー庁において、必要となる技術的要件が取りまとめられた。
- これを受け、同庁より、当該技術的要件を満たす実証候補地点について推薦依頼があったことから、県内市町村に募集を行い、応募のあった候補地の中から、推薦すべき箇所について、検討を行った。

2. 検討経過

- 平成 28 年 3 月：国、県、電力会社等の機関で構成される「福島新エネ社会構想実現会議」の設置
- 平成 28 年 9 月：第 3 回「福島新エネ社会構想実現会議」において、福島新エネ社会構想とりまとめ
：NEDO の委託を受け、事業者が事業可能性調査を開始
- 平成 29 年 3 月：「福島新エネ社会構想実現会議」の下に、要求される設備仕様等の検討を行う「再生可能エネルギー由来水素プロジェクト検討WG」（学識経験者、事業者で構成）設置
：WG において実証事業に必要な技術的要件のとりまとめ
- 平成 29 年 4 月：資源エネルギー庁より推薦箇所の選定依頼
：技術的要件を踏まえ、県内市町村に候補地の募集を行い、設置を希望する 3 市町の現地調査を実施

3. 推薦箇所の選定

- 県内市町村に募集を行ったところ、3 市町から 5 箇所の希望（福島市：2 箇所、郡山市：2 箇所、浪江町：1 箇所）があった。
- これを踏まえ、現地調査を実施の上、技術的要件に基づき検討を行い、県としての推薦箇所を選定する。
<※ 最終的な立地箇所は、県の推薦を踏まえ、夏頃、選定予定>